信夫山国道トピックス

平成１５年10月7日
第　10　号

『地域に学ぶ中学生体験活動』

～泉高架橋下部工第２工事現場体験学習へ～

　吾妻中学校の生徒さん３名が、社会体験の一環として、泉高架橋下部工第２工事現場を見学に訪れました。

　普段は外からしか見られない現場を、直接工事している箇所へ案内されると、「高架橋下部工工事とはどのような工事なのですか？、福島西道路が完成すると地域にどのような影響があるのですか？」等の質問がありました。また、見学終了後「地域で行われている工事に興味が湧いてきました。大変勉強になりました。」等、感想をはなしてくれました。

　この橋や道路、地域の未来を、彼等の世代へ大切に繋いでいきたいものですね。

　社会体験終了後に、感想文を書いてもらいましたので紹介したいと思います。

吾妻中学校　2年　後藤　暁くん

工事現場を見学して僕は、驚いたことがいくつかあります。

まず、高架橋の工事現場を間近で見られてとても感激しました。普通は橋の上を走っても見えなかったり、橋の下を通っても囲いで覆われていて見ることが出来ない所だったので高架橋の現場に来られてとても良かったと思います。現場では、自信や、車が通っても倒れないように、地下に２０メートル柱を立て、鉄筋を入れて橋脚を造っていると聞いてびっくりしました。それに鉄筋は１５センチメートル幅で約百本も入れると聞いて、とても驚きました。

橋が完成して、もし通ったときは今回教えてもらったことを思い出して通りたいと思います。

吾妻中学校　2年　関根大介くん

今まで西道路を通るときに工事の様子を見ないで、そのまま通り過ぎていたので、あまり知りませんでした。

この工事の主な仕事は、橋の柱を立てることです。その中には、８本の鉄筋を入れます。この穴は深さが約１１メートルあります。橋脚が倒れないようにするためです。この工事だけでも１億百万円ものお金がかかっています。この橋を造ることによって、交通の渋滞が減少して快適な街になると思います。これからもこの道路を通るときには見てみたいと思います。この工事を見学できて、大変勉強になりました。ありがとうございました。

国土交通省 福島河川国道事務所　TEL(024)553-2925　Mail fukusima@thr.mlit.go.jp
信夫山国道出張所　FAX(024)553-2260　ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http//www.fks-wo.thr.mlit.g o.jp